

必

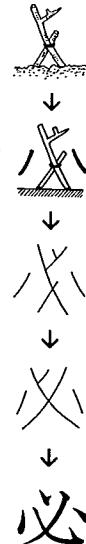
四年

画数 5

筆順 ソ 必 必 必

オシ ヒツ

クン かならず



成り立ち

二本の木のえだをむすび、地上に立てた「目じるし」の意味の「弋」(式年316)と、「分ける」意味の「八」(分221)とを組み合わせた字です。

土地のさかいをはつきりさせるためには「かならず」立てるものですから、「かならず」という意味を表すために作られました。

この字は、「心」に「ノ」を加えた形をしていましたから、「かならずわすれないように「心にとめる」という意味だとおぼえた方がよいかもしれません。

票

四年  
画数 11  
筆順 一 ノ 西 西 票 票  
オシ ヒツ  
クン かならず

成り立ち

要 (4年630) の意味の「西」と、「示す」という意味の「示」(5年732)とを組み合わせて作った字。

「大事」なことを「示す」もの」という意味の字で「大事なことを書き入れる「紙きれ(カード)」を表した字です。例伝票、証票。

特に、「せんきょに使う、せんきょ人の名前を書き入れる紙きれ」の意味に使うことがあります。例投票、開票、得票、白票、票決。

「古い字は「戻」で、舞い上がる「火の粉」が本義の字であるが、この説明ではとても理解しにくいので、現在の字形に基づいて解字したものである。」

△あしたから、臨海学校が始まります。海水着やパジャマなど必要な物を用意するのが大変です。でも海で泳いだり、砂浜で砂遊びができるので楽しみです。

△おねえさんは来年大学を受験するので、『受験者のための必携ノート』という本を買いました。受験者必読の本というのですが、その本を読んでも、必ずしも受かるとは限らないようです。

△必要(必ず人要であること。必ず要ること。「必要なことは、手帳にメモをしておくことです」などというふうに、つかいます。)

△必携(必ず持つていなければいけないこと。また、そういうものの。「美術志望者必携の本」などというふうに、つかいます。)

△必讀(必ず読まなければいけないこと。「俳句入門者必讀の書」などというふうに、つかいます。)

△必勝(必ず勝つこと。「必勝を期して試合に臨む」などというふうに、つかいます。)

熟語例

△おねえさんは、ある会社の事務員です。伝票の整理が大変だそうです。わたしも見たことがあります。何百枚もの伝票がありました。あれを全部整理するのは、本当に大変だろうと思います。

△伝票(お金や品目の出し入れや、取り引きの内容などを書いた紙きれ)

△証票(何かを証明するカード)

△投票(選挙や採決の時、人の名前や賛否などを票に書き入れて提出すること。「大事な問題だから全員の投票で決めよう」などというふうに、つかいます。)

△開票(投票箱を開いて、投票の結果を調べること。得票(票を得ること。また、得た票)

△白票(白紙のままで、何も書かれていないう票)

△票決(投票で決めること。)

△おねえさんは、ある会社の事務員です。伝票の整理が大変だそうです。わたしも見たことがあります。何百枚もの伝票がありました。あれを全部整理するのは、本当に大変だろうと思います。

△伝票(お金や品目の出し入れや、取り引きの内容などを書いた紙きれ)

△証票(何かを証明するカード)

△投票(選挙や採決の時、人の名前や賛否などを票に書き入れて提出すること。「大事な問題だから全員の投票で決めよう」などというふうに、つかいます。)

△開票(投票箱を開いて、投票の結果を調べること。得票(票を得ること。また、得た票)

△白票(白紙のままで、何も書かれていないう票)

△票決(投票で決めること。)